

科目名	地域・在宅看護概論		時期		時間	単位
担当教員	看護師として5年以上の実務経験を有する専任教員		1年次	後期	30時間	2単位
科目設定理由	諸外国に例を見ない速さで進む高齢化を背景に、地域の人々が可能な限り住み慣れた地域で、その人らしい暮らしを続けられるように地域包括ケアシステムの構築が求められている。このような状況下において地域で生活する人々とその家族を理解することに加え、地域における様々な場で看護は提供されるため、人々の暮らしの理解が不可欠である。そこで、地域・在宅看護における人々の暮らしや地域、対象、制度の活用方法を学び、地域・在宅看護における看護師の役割や多職種との連携を理解することを目的に当該科目を設定した。					
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 看護を取り巻く社会背景をもとに、地域・在宅看護における人々の暮らしや地域を理解する 2 地域・在宅看護における対象者を理解する 3 地域・在宅看護実践の場と連携方法を理解する 4 地域・在宅看護にかかわる制度とその活用方法を理解する 5 保健医療福祉チームの一員としての地域・在宅看護における看護師の役割を理解する 					
授 業 計 画						
回数	項目	内 容				備 考
1~4	人々の暮らしと地域・在宅看護	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域・在宅看護とは <ol style="list-style-type: none"> (1) 地域・在宅看護における暮らしと健康 (2) 暮らしと地域を理解するための考え方 (3) 地域・在宅看護における看護の役割 (4) 地域包括ケアシステム 				講義
5~6	地域・在宅看護の対象者	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域・在宅看護の対象者 <ol style="list-style-type: none"> (1) ライフステージからみた対象者 (2) 健康レベルからみた対象者 2 地域・在宅看護の対象者としての家族 				講義
7~9	地域・在宅看護実践の場と連携	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域・在宅看護実践の場 <ol style="list-style-type: none"> (1) 住まい、施設、医療機関、地域 2 専門職種との連携 				講義
10~14	地域・在宅看護にかかわる制度とその活用	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域・在宅療養を支える仕組み <ol style="list-style-type: none"> (1) 介護保険制度 (2) 医療保険制度 (3) 高齢者に関する法制度 (4) 障害者・難病に関する法制度 (5) 権利保障に関連する制度 2 訪問看護の制度 				講義
15	試験	まとめ				
使用テキスト	系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論[1] 地域・在宅看護の基盤		河原 加代子 他		医学書院	
	系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論[2] 地域・在宅看護の実践		河原 加代子 他		医学書院	
	写真でわかる訪問看護アドバンス		押川 真喜子 監修		インターメディカ	
	国民衛生の動向		厚生統計協会			
参考図書・資料等						
評価方法	筆記試験、課題レポート、出席状況などから総合的に判断する					